

令和6年度東京都教科用図書選定審議会（第3回）議事次第

日時：令和6年7月4日（木）午後1時30分から午後5時まで
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

1 開会

2 教育委員会挨拶

[指導部長]

3 議事

(1) 諮問事項審議

ア 全体会①

[管理課長]

審議事項について

イ 分科会

[各担当指導主事]

- ・ 令和7～10年度使用都立中学校及び都立中等教育学校（前期課程）用教科書調査研究資料／同採択資料について
- ・ 令和7～10年度使用都立特別支援学校（中学部）用教科書調査研究資料／同採択資料について

ウ 全体会②

- ・ 分科会で審議した調査研究資料／採択資料についての報告、答申案の審議
- ・ その他の教科書採択資料についての審議

(2) 答申

4 事務連絡

[管理課長]

5 教育委員会挨拶

[指導部長]

6 閉会

東京都教科用図書選定審議会委員名簿

(五十音順 敬称略)

	荒井友香	武蔵野市教育委員会指導課長
	池庄司好美	文京区立第十中学校主幹教諭
	池谷光二	武蔵村山市教育委員会教育長
	小野田由夏	東京都特別支援学校PTA連合会会長
	風間由紀子	東京都公立中学校PTA協議会派遣理事
	勝嶋憲子	都立富士高等学校附属中学校長（統括校長）
	金子智雄	豊島区教育委員会教育長
副会長	清野正	渋谷区立渋谷本町学園統括校長
	小池巳世	都立北特別支援学校長（統括校長）
	佐藤浩	日本体育大学教授
	執行純子	大田区立入新井第一小学校長
	田中晴恵	昭島市教育委員会統括指導主事
会長	中西郁	十文字学園女子大学教授
	袴田紗依子	都教育庁都立学校教育部特別支援教育課長
	比嘉竜也	都立三鷹中等教育学校主幹教諭
	平原保	府中市教育委員会教育委員
	細田真司	大田区教育委員会指導課長
	武藤道郎	芝中学高等学校長
	矢野祐子	都立墨東特別支援学校指導教諭
	山口真佐子	桜美林大学特任教授

東京都教科用図書選定審議会（第3回） 東京都教育庁事務局職員名簿

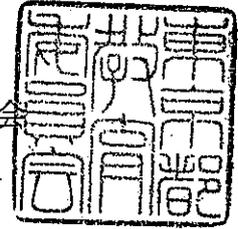
職 名	名 前
指 導 部 長	山 田 道 人
管 理 課 長	荒 木 進 太 郎
義 務 教 育 指 導 課 長	坂 本 教 喜
特 別 支 援 教 育 指 導 課 長	中 村 大 介
高 等 学 校 教 育 指 導 課 長	市 村 裕 子



6 教指管第 5 5 号
令和 6 年 4 月 1 6 日

東京都教科用図書選定審議会長 殿

東京都教育委員会



諮 問

東京都教育委員会は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（以下「無償措置法」という。）第 10 条及び第 13 条第 2 項の規定に基づき、都立の義務教育諸学校において使用する教科書の採択並びに区市町村教育委員会及び国立・私立学校の校長が行う教科書の採択についての指導、助言又は援助を行っている。

については、無償措置法第 11 条及び同法施行令第 8 条の規定に基づき、都立の義務教育諸学校において使用する教科書の採択並びに区市町村教育委員会等が行う教科書採択について指導、助言又は援助を行うため、下記の事項について諮問する。

記

1 教科書の採択方針について

（理 由）

教科書の採択に当たって、採択権者が留意しなければならない事項等について、検討を行う必要がある。

2 教科書調査研究資料について

（理 由）

東京都教育委員会が作成する教科書調査研究資料が、採択のための資料及び他の採択権者に対する指導、助言又は援助のための資料として適切であるかどうか検討する必要がある。

3 令和 7 年度使用教科書採択（都立小学校、都立中学校、都立中等教育学校（前期課程）及び都立特別支援学校（小学部・中学部））について

（理 由）

都立の義務教育諸学校において使用する教科書の採択に当たっては、あらかじめ東京都教科用図書選定審議会の意見をきく必要がある。

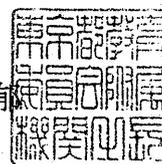


令和6年4月16日

東京都教育委員会 殿

東京都教科用図書選定審議会

会長 中西 有



教科書の採択方針について（答申）

令和6年4月16日付けで諮問のあった事項のうち、「教科書の採択方針」について、下記のとおり答申します。

記

1 教科書採択に当たっての留意事項について

東京都教育委員会は、次の事項に留意し、総合的に判断して、令和7年度に義務教育諸学校で使用する教科書の採択を行うとともに、他の採択権者においても同様の方針で採択するように指導、助言又は援助を行うこと。

- (1) 採択は、採択権者が自らの責任と権限において、適正かつ公正に行うこと。
- (2) 学習指導要領及び採択権者の教育方針を踏まえ、より専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 特別支援学級及び特別支援学校の児童・生徒の実情も十分配慮すること。
- (4) 各採択地区の実情に応じて、創意・工夫をすること。

なお、1採択地区に2以上の教育委員会が存する場合、種目ごとに同一の教科書を採択するための協議について、関係教育委員会は採択地区協議会を設置して行うこと。

また、採択地区協議会における最終的な合意形成の方法等はあらかじめ定めること。

2 教科書の調査研究に当たって留意・検討すべき事項について

(1) 小学校用教科書

東京都教育委員会は、小学校、義務教育学校（前期課程）及び特別支援学校（小学部）で使用する教科書について、学習指導要領の教科の目標等を踏まえ、各教科書の違いが明瞭に分かるように、内容及び構成上の工夫について調査研究すること。

(2) 中学校用教科書

東京都教育委員会は、中学校、義務教育学校（後期課程）、中等教育学校（前期課程）及び特別支援学校（中学部）で使用する教科書について、学習指導要領の教科の目標等

を踏まえ、各教科書の違いが明瞭に分かるように、内容及び構成上の工夫について調査研究すること。

(3) 都立の義務教育諸学校で使用する教科書

ア 都立小学校で使用する教科書

東京都教育委員会は、都立小学校で使用する教科書の採択に当たって、学習指導要領の教科の目標等を踏まえ、小中高一貫教育の特色及び学校の特色を考慮し、各教科書の違いが明瞭に分かるように、内容及び構成上の工夫について調査研究すること。

なお、都立小学校の英語の採択に当たって、小学校英語の学習者用デジタル教科書を調査し、採択の考慮の一事項とすることができることにも配慮して調査研究すること。

イ 都立中学校及び都立中等教育学校（前期課程）で使用する教科書

東京都教育委員会は、都立中学校及び都立中等教育学校（前期課程）で使用する教科書の採択に当たって、学習指導要領の教科の目標等を踏まえ、中高一貫教育の特色及び各学校の特色を考慮し、各教科書の違いが明瞭に分かるように、内容及び構成上の工夫について調査研究すること。

なお、都立中学校及び都立中等教育学校（前期課程）の英語の採択に当たって、中学校英語の学習者用デジタル教科書を調査し、採択の考慮の一事項とすることができることにも配慮して調査研究すること。

ウ 都立特別支援学校（小学部・中学部）で使用する教科書

東京都教育委員会は、都立特別支援学校（小学部・中学部）で使用する教科書の採択に当たって、学習指導要領の教科の目標等を踏まえ、児童・生徒の障害の状態や特性等を考慮し、各教科書の違いが明瞭に分かるように、内容及び構成上の工夫について調査研究すること。

なお、都立特別支援学校（小学部・中学部）の英語の採択に当たって、小学校英語及び中学校英語の学習者用デジタル教科書を調査し、採択の考慮の一事項とすることができることにも配慮して調査研究すること。

(4) 学校教育法附則第9条第1項の規定による教科書（以下「一般図書」という。）

ア 東京都教育委員会は、令和6年度使用教科書として採択された一般図書及びその他の図書について検討し、調査すること。

イ 東京都教育委員会は、特別支援学級及び特別支援学校で使用する一般図書の調査研究に当たって、学習指導要領の教科の目標等を踏まえ、児童・生徒の障害の状態や特性等を考慮し、内容及び構成上の工夫について調査研究すること。

なお、一般図書を教科書として使用する際の指導上の配慮事項やその他参考となる事項等についても、併せて調査研究すること。



令和6年6月11日

東京都教育委員会 殿

東京都教科用図書選定審議会

会長 中西 有



教科書調査研究資料について（答申）

令和6年4月16日付けで諮問のあった、教科書調査研究資料について、下記のとおり答申
します。

記

「令和7～10年度使用教科書調査研究資料（中学校）」は、調査研究資料として適切であると認められる。

東京都教育委員会は、教科書の採択に当たり、これを活用するとともに、他の採択権者に対しても、これが十分に活用されるよう指導、助言又は援助を行うこと。

審議事項

1 教科書調査研究資料について

調査研究資料	審議日程
① 令和7～10年度使用教科書調査研究資料(中学校) (中学校用文部科学省検定済教科書)	第2回審議会にて審議済



調査研究資料	審議日程
② 令和7～10年度使用都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)用教科書調査研究資料(案)【資料7】 (都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)で使用する文部科学省検定済教科書)	一本日一分科会・全体会2
③ 令和7～10年度使用都立特別支援学校(中学部)用教科書調査研究資料(案)【資料8】 (都立特別支援学校(中学部)で使用する文部科学省検定済教科書)	一本日一分科会・全体会2

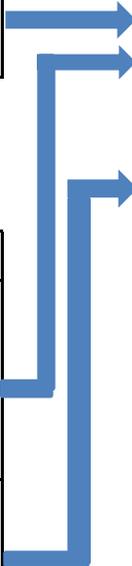
調査研究資料	作成年月
④ 令和5～7年度使用特別支援教育教科書調査研究資料(一般図書) (特別支援学校及び特別支援学級で教科書として使用する一般図書)	令和4年6月

2 令和7年度に都立の義務教育諸学校で使用する教科書採択資料について

採択資料(文部科学省検定済教科書)	審議日程
(1) 新規に採択する必要があるもの	一本日一分科会・全体会2
⑤ 令和7～10年度使用都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)用教科書採択資料(案)【資料10】	
⑥ 令和7～10年度使用都立特別支援学校(中学部)用教科書採択資料(案)【資料11】	
(2) 前回採択時と同一の教科書を採択する必要があるもの	一本日一全体会2
⑦ 令和7年度使用都立小学校用教科書採択資料(案)【資料9】	
⑧ 令和7年度使用都立特別支援学校(小学部)用教科書採択資料(案)【資料9】	

採択資料(文部科学省著作教科書)	審議日程
⑨ 令和7年度使用都立特別支援学校(小学部・中学部)用教科書採択資料(文部科学省著作教科書)(案)【資料9】	一本日一全体会2

採択資料(一般図書)	審議日程
⑩ 令和7年度に都立特別支援学校(小学部・中学部)で使用する学校教育法附則第9条第1項の規定による教科書(一般図書)採択資料(案)【資料9】	一本日一全体会2



令和6年度東京都教科用図書選定審議会(第3回) 分科会構成(案)

※ 分科会①と分科会②の間に10分間の休憩あり

	委員	分科会(前半) ※説明・審議50分+休憩10分		分科会(後半) ※説明・審議50分+休憩10分		会場
		教科	障害種別	教科	障害種別	
第1分科会	荒井委員 勝嶋委員 佐藤委員 矢野委員	特別支援学校(中学部)		中学校・中等教育学校(前期課程)		510
		国語	聴・肢	国語		
		書写	視・聴・肢	書写		
		社会 (歴史的分野)	聴・肢	社会 (歴史的分野)		
保健体育	聴・肢	保健体育				
第2分科会	風間委員 小池委員 中西委員 平原委員	中学校・中等教育学校(前期課程)		特別支援学校(中学部)		511
		社会 (公民的分野)		社会 (公民的分野)	聴・肢	
		地図		視・聴・肢		
		理科		聴・肢		
美術	視・聴・肢					
第3分科会	池庄司委員 清野委員 細田委員 山口委員	中学校・中等教育学校(前期課程)		特別支援学校(中学部)		512
		音楽 (一般)		音楽 (一般)	聴・肢	
		音楽 (器楽合奏)		聴・肢		
		英語		聴・肢		
道徳	聴・肢					
第4分科会	小野田委員 執行委員 田中委員 比嘉委員	特別支援学校(中学部)		中学校・中等教育学校(前期課程)		514
		社会 (地理的分野)	聴・肢	社会 (地理的分野)		
		数学	聴・肢	数学		
		技術・家庭 (技術分野)	聴・肢	技術・家庭 (技術分野)		
	技術・家庭 (家庭分野)	聴・肢	技術・家庭 (家庭分野)			

教科書調査研究資料 調査研究項目一覧《中高一貫6年制学校》

資料6

教科等 〔 〕内数字 は優先順位 を付ける項目 数	調査研究項目	白鷗高等	小石川中等	両国高等	桜修館中等	立川国際中	武蔵高等	富士高等	大泉高等	南多摩中等	三鷹中等教
		学校附属 中学校	教育学校 (前期課程)	学校附属 中学校	教育学校 (前期課程)	等教育学校 (前期課程)	学校附属 中学校	学校附属 中学校	学校附属 中学校	教育学校 (前期課程)	育学校 (前期課程)
国語 【4】	1 日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数			○	○	○					
	2 日本の文化・伝統を扱っている古典以外の教材数	○									
	3 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	○	○	○	○		○		○	○	○
	4 豊かな読書活動へと発展する教材数		○			○	○	○		○	○
	5 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数			○			○	○	○		○
	6 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 文章表現能力の育成を図る教材数	○	○		○	○		○	○	○	
書写 【2】	1 日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	○		○	○			○			
	2 書く文字を生徒が選択する教材数		○			○	○	○	○	○	○
	3 世界の文字・言語を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○		○	○	○
社会 (地理的 分野) 【3】	1 我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	○		○	○				○	○	○
	2 地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	○	○	○		○	○	○		○	
	3 世界の文化・伝統を扱っている箇所数	○	○		○	○	○	○	○		○
	4 調べ学習の仕方を紹介しているページ数		○	○	○	○	○	○	○	○	○
地図【2】	1 我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 課題、問いの数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会 (歴史的 分野) 【3】	1 我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	○			○	○			○	○	○
	2 地域の学習資源や大学、国際機関等、社会の学習資源を活用している箇所数	○	○	○		○	○	○		○	○
	3 世界の歴史と関わらせて我が国の歴史を取り上げている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	4 調べ学習の仕方を紹介しているページ数		○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会 (公民的 分野) 【2】	1 我が国の伝統と文化を扱っている箇所数	○									○
	2 調べ学習の仕方を紹介しているページ数		○		○	○	○	○	○	○	○
	3 国際社会の諸課題を学習課題として扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
数学 【3】	1 日本の文化・伝統や和算を扱っている箇所数	○									
	2 外国の数学者や業績等を扱っている箇所数		○	○	○	○	○		○	○	○
	3 先端の学術や文化に関わる数学的内容を取り扱っている箇所数		○					○			
	4 説明や証明など、論理的な思考力の育成を図る課題の箇所数	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	5 表やグラフなどを題材として、数学的に分析・考察し、論理的な解決を図る課題の箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理科 【2】	1 日本の科学研究を扱っている箇所数	○							○		○
	2 世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 発明や発見に関わる科学史を取り上げている箇所数		○				○	○		○	
	4 科学技術をめぐる倫理問題を扱っている箇所数			○	○	○					
音楽 (一般) 【2】	1 我が国や郷土の伝統音楽を扱っている教材のページ数	○		○	○	○				○	○
	2 世界の民族音楽について記述してあるページ数	○	○		○	○	○	○	○	○	
	3 創意工夫を生かした活動について記述してあるページ数		○	○			○	○	○		○
音楽【2】 (器楽合奏)	1 和楽器を扱っているページ数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 我が国や郷土の伝統音楽の楽譜を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
美術 【2】	1 生活や社会を美しく豊かにする美術の働きを扱っているページ数							○		○	○
	2 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○		○		
	3 諸外国の美術や文化を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保健体育 【2】	1 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数		○	○		○	○		○		
	2 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	○	○		○	○				○	○
	3 日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	○			○			○			○
	4 体力の向上について扱っている箇所数			○			○	○	○	○	
技術・家庭 (技術分野) 【3】	1 我が国の伝統的な技術を扱っている箇所数	○		○	○				○		○
	2 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 世界や日本の先端技術を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 エネルギー変換に関する内容を扱っているページ数		○			○	○	○		○	○
	5 情報の役割とコンピュータの整備・操作を扱っているページ数									○	○
技術・家庭 (家庭分野) 【3】	1 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	○			○			○	○		○
	2 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数		○	○			○		○	○	
	4 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	○				○		○		○	○
	5 家族と家庭生活を扱っている教材数				○	○					
	6 持続可能な社会について扱っているページ数						○				○
英語 【3】	1 日本の文化・伝統を扱っている教材数	○			○				○		○
	2 SDGsを扱っている教材数	○			○	○	○			○	○
	3 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数		○	○		○	○	○	○	○	○
	4 自然・科学・環境を扱っている教材数	○	○	○				○			
	5 ディスカッションやディベートについて記述してある教材数		○	○	○	○	○	○	○	○	
道徳 【3】	1 他者を価値のある存在として尊重する態度の育成に資する教材数	○				○					
	2 地域社会と連携した体験的な学習に資する教材数			○	○	○	○	○	○	○	○
	3 社会のリーダーとしての資質・能力の育成に資する教材数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 各教科、特別活動及び総合的な学習等と関連付けた学習に資する教材数		○		○		○		○		○
	5 自ら課題を設定・解決する学習活動に資する教材数	○	○	○				○	○	○	